

中央教育審議会 初等中等教育分科会  
教員養成部会  
令和8年9月30日



# 特例特別免許状特区制度の活用について

－さいたま市の取組と制度活用上の課題－

さいたま市教育委員会  
教育長 竹居 秀子

# ①特別免許状授与権限の認定申請

**パイオニア特別選考を令和6年度採用より新設し、教員免許を有しない優秀な人材確保を推進、特別免許状授与後に教員として採用**

「パイオニア特別選考」

以下いずれにも該当する方

- ・ 受験教科に係る教員普通免許状を所有していない方
- ・ 受験する教科の分野について、大学や企業、研究機関等における勤務経験が3年以上ある方又は、スポーツ（オリンピック等の出場経験者を含む）や芸術の分野など受験する教科の分野における専門性や幅広い知見のある方

## 1 課題

- ・ 特別免許状の授与主体が県教育委員会であり、採用選考と免許状授与が分離  
→ 免許状授与の決定が新年度直前まで確定しない

## 2 特区申請背景

- ・ さいたまSTEAMS教育やグローバル・スタディ等の先進的な教育を推進
- ・ 退職者の増加、教員志望者数の低減による教師不足への対応
- ・ 多様な経験や専門性を有する人材の活用

## 3 特区申請目的

- ・ 教育職員検定と特別免許状授与を市教育委員会が一体的に実施
- ・ 免許授与までのスケジュール早期化
- ・ 採用候補者の不安軽減と採用辞退の防止

## ②パイオニア特別選考による特別免許状の活用実績

### 【パイオニア特別選考による任用事例① 中学校技術】

|                                                                                                 |                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 採用年度<br>配置校種・教科                                                                                 | 令和6年度<br>中学校（技術）<br>※特別免許状は、権限移譲申請中のため埼玉県が授与     |
| 経歴・実績等                                                                                          | 車載オーディオナビゲーションシステム等の<br>プログラム開発に30年間従事           |
| 現在の主な担当                                                                                         | 3学年学級担任<br>技術科主任<br>総合的な学習の時間主任<br>STEAMS TIME主任 |
| 「これからの日本や世界を支える若者たちの夢の実現を手助けしたい」という思いから教職へ転身。企業で培ったものづくりや課題解決の経験を指導に生かし、「挑戦し続ける姿勢」を子どもたちに伝えている。 |                                                  |



## ②パイオニア特別選考による特別免許状の活用実績

### 【パイオニア特別選考による任用事例② 小学校英語専科】

|                                                                                          |                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 採用年度<br>配置校種・教科                                                                          | 令和7年度<br>小学校（英語専科）                        |
| 経歴・実績等                                                                                   | 英会話スクールでの勤務<br>出版物の監修実績等                  |
| 現在の主な担当                                                                                  | グローバル・スタディ専科担当<br>グローバル・スタディ科主任<br>国際教育主任 |
| 「子どもたちの成長を日々感じられることが喜び」と語り、長年の英会話スクール勤務の経験を学習指導に生かしている。子どもたちが自ら考え、他者と協力して課題を解決する力を育てている。 |                                           |



### ③制度活用上の意義と課題

---

#### 1 制度活用上の意義

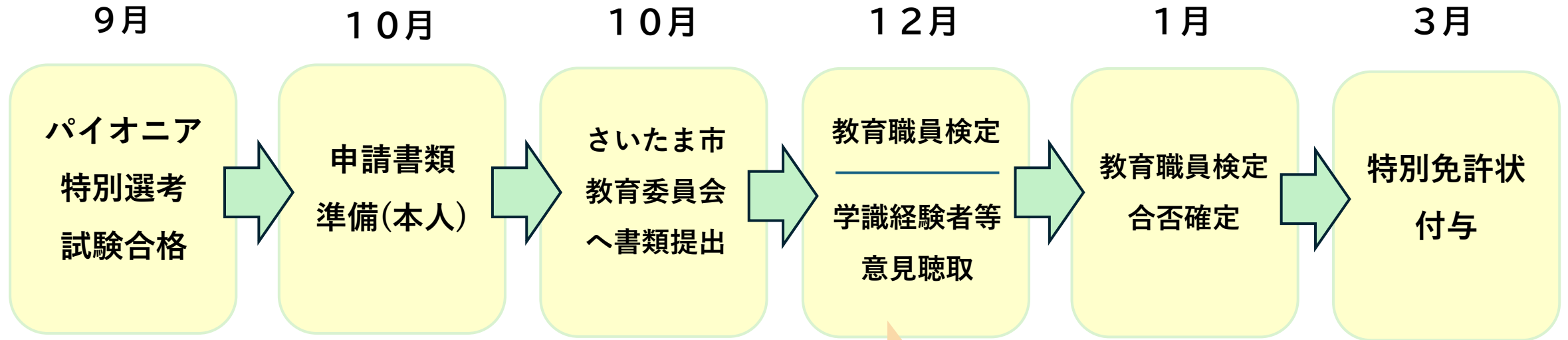
- ・ 専門的知識や経験を有する多様な人材を学校現場に登用できる。
- ・ 高い専門性や実務経験を生かし、児童生徒に対して、より実践的で幅広い指導が可能である。
- ・ 多様な経験や視点を学校教育に取り入れ、教育活動や学校組織の活性化につなげることができる。

#### 2 制度活用上の課題と本市の対応

- ① 専門的知識や経験等は確認できる一方、児童生徒理解や教育への意欲など、教員としての適性が見極めが難しい。  
→採用試験において、教員としての資質や適性を丁寧に見極めるため、プレゼンテーション試験を実施している。
- ② 高い専門性や実務経験を、学習指導や学校組織の中で生かすためには、一定の時間と継続的な支援が必要である。  
→採用者の専門性や経験を踏まえて適切に配置するとともに、採用後も適応状況を継続的に把握している。
- ③ 小学校では、特別免許状は個別の教科に授与されるため、普通免許状のように幅広い職務を担うことが難しい。  
→小学校区分で、普通免許状の取得を前提とした採用猶予制度「プレ・ライセンス特別選考」を新設した。

## ④特別免許状の発行

### 特別免許状授与の流れ



- ・さいたま市の学校教育の効果的実施に寄与する人材の採用。
- ・権限移譲により、免許授与の可否を約2カ月早期化。
- ・教員志望者の新規開拓による志願者数増加。
- ・知識経験豊富かつ専門性のある人材の採用による  
学校教育の質の向上。

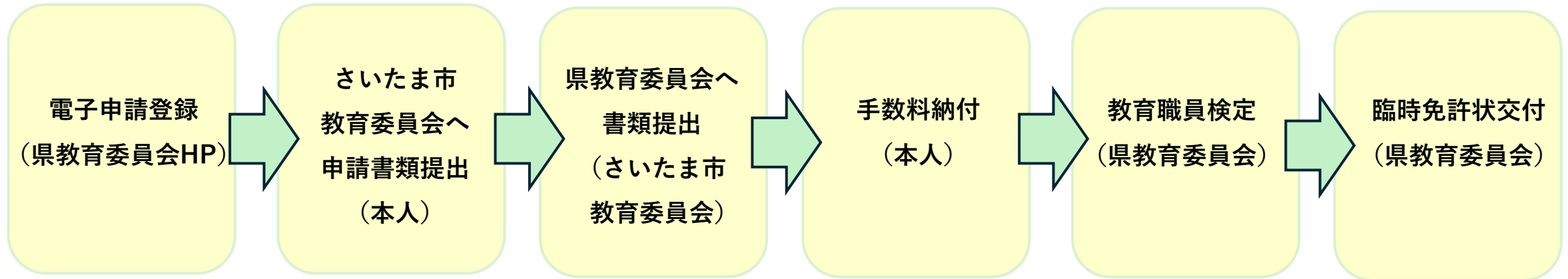
#### 【教育職員検定】

大学教授及び校長会代表による審査

- ・市教育委員会で作成した推薦書
- ・実務経歴証明書
- ・卒業証明書及び成績証明書
- ・勤務先からの推薦状及び人物に関する証明書
- ・本人からの申請理由書や免許状等の写し

## ⑤臨時免許状の活用状況

### 1 臨時免許状申請



#### 【現状】

- ・さいたま市教育委員会と埼玉県教育委員会は近接しており、書類提出の際の時間的負担が少ない。
- ・年度末の繁忙期においては、県職員と調整の上、書類を提出しており、滞りなく臨時免許状が発行されている。

### 2 臨時免許状を活用した任用

| 任用数   |      |
|-------|------|
| 令和5年度 | 205人 |
| 令和6年度 | 209人 |
| 令和7年度 | 252人 |

- ・主に、中学校の教員免許状を有する方を対象に、臨時免許状を発行して助教諭として任用している。
- ・助教諭の中には、新たに普通免許を取得し、採用試験を受験することで、正規教員として採用される者がいる。



人材確保に寄与